

## 〔正賞 社会文化部門〕

1. 名称 菊池恵楓園 絵画クラブ 金陽会
2. 設立 1953年4月
3. 住所 熊本県合志市
4. 代表 吉山 安彦氏

きんようかい



※写真は結成した1953年に撮影

### 【受賞理由】

1953年、国立ハンセン病療養所菊池恵楓園の入所者20人ほどで毎週金曜日に絵を描く活動として発足した。80年に園外で初めての展覧会を熊本市で開催、以降コンスタントに園外展を開き、今世紀に入って熊本市現代美術館などが積極的に取り上げたことで、作品が注目されるようになった。長年にわたって隔離を強いられた元患者が描いた絵画群は、いわれのない差別を受けた境遇とは裏腹に温かみがあり「光の絵画」と呼ばれる。近年は、一般社団法人金陽会が各地で展覧会を開催している。現役で今も絵を描くのは、長年仲間の作品の保存にも尽力してきた代表の吉山安彦さん（95）一人となっているが、2019年にNHKの日曜美術館で紹介され、22年には瀬戸内国際芸術祭に作品が出品されるなど、アート作品としての評価は近年ますます高まっている。

### 【主な活動歴と受賞歴】

1953年	絵画クラブ「金陽会」結成
1980年	初の園外展開催（熊日画廊）
2003年	金陽会光の絵画展（熊本市現代美術館）、07年、10年も同美術館で作品展
2015年	ここから・吉山安彦展（熊本市現代美術館）
2018年	奄美大島で里帰り展
2019年	金陽会絵画展（東京・国立ハンセン病資料館） NHK日曜美術館で全国放映
2020年	第30回「くまもと県民文化賞」受賞 天草で里帰り展
2022年	金陽会作品展（熊本県立美術館） 瀬戸内国際芸術祭に出品